

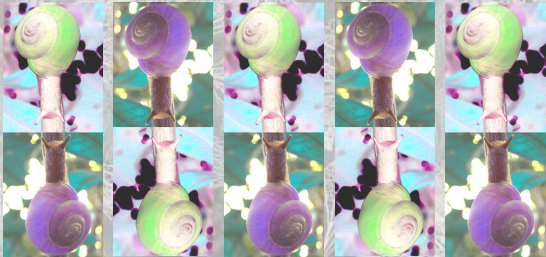
もしも愛があるならば



1+1



$n \times n$



わたしがあなたを食べるのならば、
あなたはわたしを食べて良い。
あなたがわたしを食べるのならば、
わたしはあなたを食べて良い。



(1+1)

わたし達があなた達を食べるのならば、
あなた達はわたし達を食べて良い。
あなた達がわたし達を食べるのならば、
わたし達はあなた達を食べて良い。
わたしの雫を受け取るならば、
あなたの雫を受け取ろう。
あなたが卵を生む様に、
わたしも卵を産むでしょう。
長雨が降る。日が照り映える。
葉裏で、皆で、眠りましょう。
そのようにして、長いしとねのその内に、
子らの園は広がる。



(nxn)

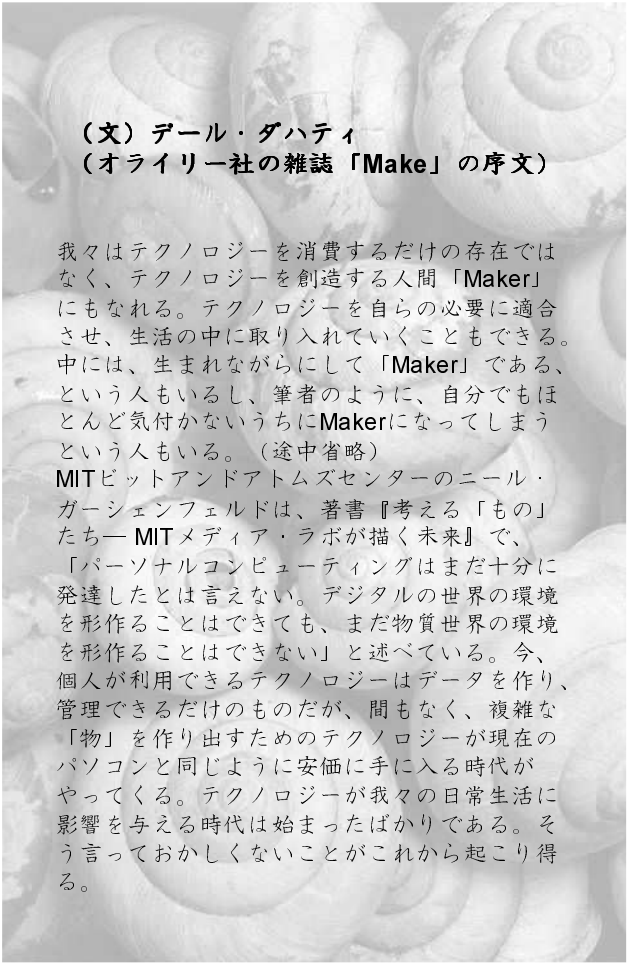


有肺類の蝸牛は同一個体が卵子と精子を持つ雌雄同体である。ただし成長中の個体にあっては雄の機能が先に成熟することが多い。一般には他の個体と相互に交尾することで受精し産卵する。雌雄同体のため自家受精もできるが、産卵数・孵化率とも著しく低下する例が多い。

交尾の際、精子は精莢（せいきょう）と呼ばれる入れ物ごと受け渡されるのが普通である。精莢は概ね半透明で細長いのが一般的で、受け取った側の雌部生殖器内で分解される。

蝸牛は陸生のため、他の貝類の様に放卵、放精による体外受精は行えない。また、移動性が低いため、他の個体と出会う確率も低い。よって、狭い生活圏で他の個体と出会った時の生殖可能性を高めるため、雌雄同体という生殖手段をとっていると考えられる。

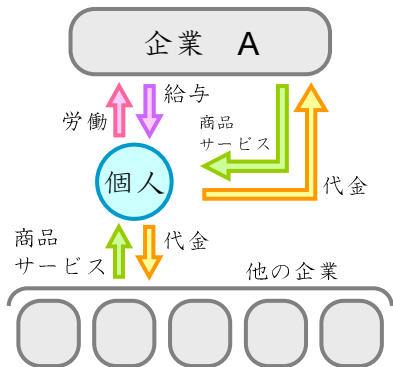
（ wikipediaより文を引用し、編集加筆 ）



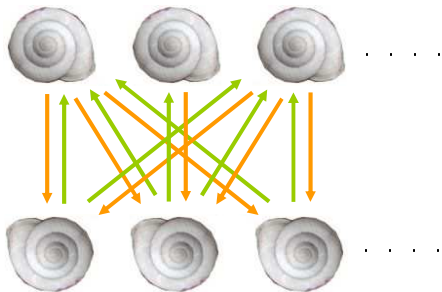
(文) デール・ダハティ
(オライリー社の雑誌「Make」の序文)

我々はテクノロジーを消費するだけの存在ではなく、テクノロジーを創造する人間「Maker」にもなれる。テクノロジーを自らの必要に適合させ、生活の中に取り入れていくこともできる。中には、生まれながらにして「Maker」である、という人もいるし、筆者のように、自分でもほとんど気付かないうちにMakerになってしまうという人もいる。(途中省略)

MITピットアンドアトムズセンターのニール・ガーシェンフェルドは、著書『考える「もの」たち—MITメディア・ラボが描く未来』で、「パーソナルコンピューティングはまだ十分に発達したとは言えない。デジタルの世界の環境を形作ることはできても、まだ物質世界の環境を形作ることはできない」と述べている。今、個人が利用できるテクノロジーはデータを作り、管理できるだけのものだが、間もなく、複雑な「物」を作り出すためのテクノロジーが現在のパソコンと同じように安価に手に入る時代がやってくる。テクノロジーが我々の日常生活に影響を与える時代は始まったばかりである。そう言うっておかしくないことがこれから起こり得る。



「M a k e r s」の世界
生産者消費者同体の世界



緩やかな家族群

「フリー」

地域通貨

なめらかな社会

「ロングハウス」＝「長屋」

シェアハウス

カーシェアリング

「シェアする」：物を所有しない生活

「いいね」：通貨に換わるものとしての評価

「シェアする」：物を所有しない生活

夜這いの民俗学・夜這いの性愛論

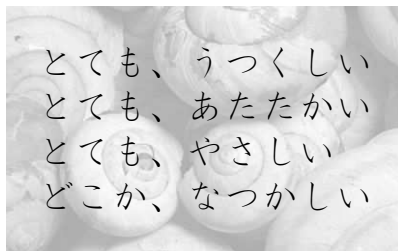
ボノボの寛容な性行動と非暴力的な社会

オライリー / メーカーズ

オープンソース

オープンアーキテクチャ

取上げ親、拾い親、乳付け親、名付け親、
禪親、腰巻親など村社会における親子関係の共有



けれど、どこか、脆弱

わたしはそこにはいけない。

でも、

あなたがたならば。

タイトル： （壁面として） 本冊表紙記載
（右、1+1） 本冊2ページ記載
（左、nxn） 本冊3ページ記載

作者： 和田聡文

製作年： 2013年2月、6月

素材： (1+1)

石膏、
木材（シナベニヤ）、ネジ類、
木の根、葉、紫陽花の花弁、
蝸牛の殻、
木工用接着剤、
日本画用絵具、
アクリル絵具、各種メディウム、
ガラスビーズ

(nxn)

石膏、
木材（シナベニヤ）、ネジ類、
木の根、羊歯の葉、
蝸牛の殻、
木工用接着剤、
日本画用絵具、
アクリル絵具、各種メディウム、
ガラスビーズ